

2023年1月27日[金] 13:00-17:30
京都大学百周年時計台記念館2F 国際ホール III

第1部:シンポジウム

若手研究者の 海外留学・海外転職、再考 ——パンデミック後の 研究キャリア選択

開会メッセージ

「『同じ』と『違う』のバランス」

狩野光伸[日本学術会議会員、文部科学省科学技術・学術審議会委員、
L-INSIGHT アドバイザリーボード]

若手研究者による国際経験ケーススタディ

海外への転出・母国への帰国における視点

「海外での学びを帰国後に最大限に活かす戦略」

井上浩輔[京都大学 医学研究科、L-INSIGHTフェロー]

海外(日本)の研究機関間の異動における視点

「バランスを求めて——研究分野と文化を越える試行錯誤の道なり」

ジーナス・チャオ[東京大学 国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構]

(日本から)母国への帰国後における視点

「帰国後にわかる異文化経験のスーパーパワーとは」

ジェニファー・コーツ[シェフィールド大学 東アジア学科]

専門家による国際流動分析

「研究者のキャリア構築に関するイベントヒストリー分析に基づいて」

藤原綾乃[日本経済大学 経営学部]

開会メッセージ:第1部 13:00-15:15/第2部 15:20-16:00/第3部 16:00-17:30

参加対象者 大学院生、PD、研究者、URA等研究支援担当者

形式 会場(グループディスカッション)+配信(MIRO等オンラインツールにてコメント受付)

言語 日本語・英語(同時通訳あり)

参加費 無料

主催 京都大学世界視力を備えた次世代トップ研究者育成プログラム、
京都大学学術研究展開センター、京都大学大学院教育支援機構

共催 京都大学欧州拠点

シリーズについて

国際的に解決すべき課題が次々に顕在化する現在、
学術と国際社会を接続する視点から研究テーマやキャリアを考える
若手研究者も少なくないでしょう。

本シリーズでは、世界で活動する若手研究者が、
自らの経験から得られた視点を一つのケースとして提示し、
全体と個、競争と共存のバランスを取りながらキャリアと研究課題を
いかに戦略的に展望するのかを参加者と共に考えます。

シリーズ第2回について

シリーズ第2回となる今回、

第1部では海外機関から帰国したL-INSIGHTフェロー、
海外出身のWPI所属研究者、京都大学から母国へ帰国した研究者、
また研究者のイベントヒストリーの専門家が登壇します。

第2部では融合研究に関するワークショップを実施します。
国際流動が回復する中、国際的な環境に興味がある大学院生や、
研究室内の国際化に直面する若手研究者にとって
有益な場となるはずです。

登録 <https://forms.gle/Y4KypF7EQQ9vY8Xi7>

参加申込期限:2023年1月26日(正午)

申込多数の場合は参加人数を調整する可能性があります。



第2部:ワークショップ

今日からはじめる融合研究

京都大学学術研究展開センター 若手研究者支援 ショーケース

研究者の歩きかたセミナー

|講師|

藤田弥世[京都大学学術研究展開センター]

L-INSIGHTキャリアプログラム

第3部:ネットワーキングと軽食

若手研究者の 海外留学・海外転職、 再考 ——パンデミック後の 研究キャリア選択

Series:
Life as a Scholar
“Your home and beyond”

第2回

13:00-13:10	開会メッセージ 「『同じ』と『違う』のバランス」 狩野光伸 [日本学術会議会員、文部科学省科学技術・学術審議会委員、L-INSIGHT アドバイザリーボード]
第1部	若手研究者の海外留学・海外転職、再考 ——パンデミック後の研究キャリア選択
13:10-13:55	若手研究者による国際経験ケーススタディ 海外への転出・母国への帰国における視点 「海外での学びを帰国後に最大限に活かす戦略」 井上浩輔 [京都大学 医学研究科、L-INSIGHTフェロー] 海外(日本)の研究機関間の異動における視点 「バランスを求めて ——研究分野と文化を越える試行錯誤の道のり」 ジーナス・チャオ [東京大学 国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構] (日本から)母国への帰国後における視点 「帰国後にわかる異文化経験のスーパーパワーとは」 ジェニファー・コーツ [シェフィールド大学 東アジア学科]
13:55-14:05	専門家による国際流動分析 「研究者のキャリア構築に関するイベントヒストリー分析に基づいて」 藤原綾乃 [日本経済大学 経営学部]
14:05-14:35	登壇者とのグループディスカッション グループ・ファシリテーター Thi Thuc Vien Dinh [京都大学 農学研究科] Samuel Matthew Girao Dumlao [京都大学 エネルギー科学研究科] Phyoe Wae Hein [京都大学 工学研究科] Surabhi Raman [京都大学 医学研究科] 永井翔吾 [京都大学 理学研究科] 坂田千文 [京都大学 文学研究科] 山田真太郎 [京都大学 医学研究科、L-INSIGHTフェロー] 吉光奈奈 [京都大学 工学研究科、L-INSIGHTフェロー]
14:35-15:05	全体ディスカッション モデレーター 新井康之 [京都大学医学部附属病院、L-INSIGHTフェロー]
15:05-15:15	結び 赤松明彦 [京都大学次世代研究者戦略拠点長]
第2部	今日からはじめる融合研究 京都大学学術研究展開センター (KURA) 若手研究者支援 ショーケース
15:20-16:00	研究者の歩きかたセミナー 講師 藤田弥世 [京都大学学術研究展開センター]
第3部 16:00-17:30	ネットワーキング (前田珈琲による無料の軽食つき)
お問い合わせ	京都大学 世界視力を備えた次世代トップ研究者育成プログラム(L-INSIGHT)事務局 電話:075-753-5916 メール:admin-l-insight@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Global Mobility for Early Career Researchers in Post-pandemic World

狩野光伸 | KANO Mitsunobu
岡山大学 副学長/ヘルスシステム統合科学研究科 医療技術臨床応用学 教授/日本学術会議 会員/文部科学省 科学技術・学術審議会 委員/L-INSIGHTアドバイザリーボード
東大医卒、博士(医学)。聖路加国際病院で臨床研修。東大教員を経て、現岡山大学教授、副理事(SDGs推進担当)、薬学部長。その他、外務省外務大臣次席科学技術顧問、日本学術会議会員、文部科学省科学技術・学術審議会委員など、政府公職等も多数経験。



狩野光伸

井上浩輔 | INOUE Kosuke
京都大学 医学研究科 社会健康医学系専攻国際保健学講座 社会疫学 助教
2013年東大医学部卒。国立国際医療研究センター、横浜労災病院の勤務を経て、2021年UCLA公衆衛生大学院(疫学)博士課程修了。同年より京都大学大学院 医学研究科 社会疫学分野 助教。京都大学医学部付属病院 糖尿病・内分泌・栄養内科で診療にも従事。2020年NIH/NIDDKF99/K00 Award受賞。2017-2022年、査読付き論文68報(うち筆頭/責任論文44本)。主な研究テーマは、因果推論の手法を用いた、臨床医学における因果メカニズムの解明と、社会背景因子によるその異質性評価。



井上浩輔

ジーナス・チャオ | Zenas Chao
東京大学 国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構 主任研究員・准教授
ジーナス・チャオ氏の関心は、人間の心と人間のような知能を持つ機械の開発にあり、自由意志、意識、創造性の生物学的起源を知りたいと考えています。台湾の大学で生命科学と化学の学士号を取得後、米国のジョージア工科大学で生物医学工学を学びました。博士課程では、シャーレの中で神経細胞を培養し、それをロボットに接続して、人工有機脳を持つ機械が目的に沿った行動を学習できることを実証しました。大学院修了後、来日し、理化学研究所脳科学総合研究センター研究員、生理学研究所助教、京都大学講師として、ヒトやサル の行動中の脳信号をいかに解読し、脳によるロボットやコンピュータの制御をいかに可能にするか研究を行ってきました。現在は、東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構 (IRCIN) の主任研究員・准教授として、コンピューター系、培養系、生体系の研究経験を活かしながら、予測符号化と創造的問題解決を検証しようとしています。



ジーナス・チャオ

ジェニファー・コーツ | Jennifer Coates
シェフィールド大学 東アジア学科 教授
シェフィールド大学東アジア学科の日本研究の教授。2014-2019年、京都大学白眉センター 助教(文学研究科)。著書には、『Making Icons: Repetition and the Female Image in Japanese Cinema, 1945-1964』(Hong Kong University Press, 2016年)や『Film Viewing in Postwar Japan, 1945-1968: An Ethnographic Study』(Edinburgh University Press, 2022年) があります。また、『Japanese Visual Media: Politicizing the Screen』(Routledge, 2021年、E. ベンアリとの共編) や『The Routledge Companion to Gender and Japanese Culture』(Routledge, 2019年、L. フレイザー・M. ベンドルトンとの共編)の編者でもあります。英国芸術・人文科学研究会議 (AHRC) のイノベーション・スカラー。2021年、視覚芸術・舞台芸術分野でフリップ・リーヴァーヒューム賞受賞。



ジェニファー・コーツ

藤原綾乃 | FUJIWARA Ayano
日本経済大学 経営学部 准教授
東京大学経済学部卒。東京大学大学院工学系研究科修了。博士(工学)。大阪大学大学院国際公共政策研究科助教、文部科学省科学技術・学術政策研究所主任研究官を経て、現職。主な研究テーマは、イノベーション論、人材流動化が与える影響に関する分析。



藤原綾乃

新井康之 | ARAI Yasuyuki
京都大学医学部附属病院 検査部 助教
2006年京都大学医学部医学科卒。医学研究所北野病院、倉敷中央病院での臨床研修を経て、京都大学大学院医学研究科博士課程修了(血液・腫瘍内科学)。以降、3年間米国国立衛生研究所にて博士研究員として、免疫学研究に従事。帰国後、京都大学医学部附属病院血液内科医員を経て、2018年より輸血細胞治療部(現・検査部・細胞療法センター)助教。造血幹細胞移植をはじめとした細胞療法の開発と応用に取り組む。



新井康之